

小学校 中 学年< 3 - (4) >

学 年	3年	時 間	社会科「わたしのまち みんなのまち」 2 市 (町・村) のようす	時 期	6月～7月	時 数	全10時間
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 市 (町・村) の特色ある地形, 土地利用の様子, 主な公共施設の場所と働き, 交通の様子, 古くから残る建造物の場所と様子や, 場所によって地域の様子には違いがあることを理解し, 自分たちが日々生活している市 (町・村) に対する誇りや愛情をもつ。 市 (町・村) の様子から防災に視点を当てた学習問題を見だし, 観察・調査したり地図やその他の資料を活用したりして調べたことを, 地図記号や方位を活用して白地図にまとめるとともに, 場所による地域の様子の違い, 特色やよさを考えて, 適切に表現する。 						
資料・準備	市 (町村) の航空写真、地形図、昔の地図、今の地図、副読本やワークシート						

展開 (全10時間の流れ)

	学習活動と内容	指導上の留意点 支援(○)
つ か む	<ol style="list-style-type: none"> 1 航空写真を見て、気づいたことや、市 (町・村) の施設や様子でわかっていることを発表しあう。 2 市の地図を見て、行ったことのある場所を紹介し合う。 3 それぞれの場所の違いを話しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市 (町、村) は、様々な地形の上に成り立っていること、多くの建物や施設があることに気づかせるようにする。 ○地形に応じて地域の様子が違っていることを感じさせ、市(町、村)の様子に関心をもたせる。
調 べ る	<ol style="list-style-type: none"> 4 土地の高さを地図で確かめて、どんな場所を調べるか決める。 <例> 鳥取市の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・建物が集まるにぎやかな所 (鳥取駅のまわり) ・港のあるところ (鳥取港のまわり) ・田や畑の多いところ (国府町・米里地区 等) ・砂丘のあるところ (浜坂・福部地区 等) ・工場が集まっている所 (津ノ井工業団地) ・みどりの多い所 (佐治・用瀬・鹿野地区・青谷町中郷地区のまわり 等) 5 実際に見学したり、インターネットや、ガイドブック、写真や地図、他校への手紙などで調査したりする計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・土地の様子や使われ方 ・建物の様子 ・人の様子 ・交通の様子 など 6 自分たちが立てた計画に沿って、市の特色ある場所の様子を詳しく調べ、表や地図などにまとめる。 7 調べてわかったことを発表し合う。 8 地図で記号を確認しながら、調べてわかったことをもとに考えたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな調査方法を提示することで調べ方を学ばせる。 <p>市街地、田園地帯、山間部、日本海、 河川 (千代川、天神川、日野川やその支流) ※鳥取市の場合、袋川 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害に関連して土地の様子、河川の様子、建物の様子、交通の様子、等についても調べさせる。併せて、過去の災害や残っている物にも軽くふれたい。 <p><鳥取市の例> 鳥取地震、鳥取大火、千代川の氾濫 等</p> <p>(各校の指導計画に沿って実施)</p>
ま と め る ・ い か す	<ol style="list-style-type: none"> 9 特色ある場所を実際に見学に出かけてまとめる。 ○紹介地図や文を作成する。 10 参観日、児童集会 等に機会に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会見学等で、調べたことを実際に目で確かめる機会を設定する。 ○災害のあった場所や現在の様子、記念碑等があれば、見せておく。(のこしたいもの つたえたいもの) 参照 ○学校の全児童に発表する機会をもつ など、各校の指導計画にそって実施する。 ○鳥取県内の各市町村のよいところ、楽しいところ、また災害のときには、という観点でまとめ、生かしたい。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	(社会科) わたしのまち みんなのまち 1 学校のまわり (社会科) のこしたいもの つたえたいもの
協 力 団 体	